

第4回碩田中学校区新設校開校準備委員会 会議要旨

日時：平成28年2月16日（火）19:00～20:30

場所：大分市教育センター・302 研修室

○出席者 16名

1. 開会のことば

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(1) 経過報告

- ・第4回開校準備委員会までの経過について説明する。

(2) 各専門部会からの報告・協議について

①報告及び協議

- ・報告と協議を併せて、専門部会ごとに20分程度の時間を設定する。

【学校部会】

- ・資料2～4ページを基に、校名案、制服、メモリアルコーナーについて部会長の安東委員から説明する。

(説明内容の概要)

- ・校名について、「碩田」のあとに付け加える名称として、「学館」「学舎」「学院」「学園」の4案に絞り、今後は教育委員会において再度検討を重ねる。
- ・制服については、第2回アンケート調査を実施し、保護者の意見を集約した上で、慎重に審議していく。

<主な意見>

〔委員〕学校名について、案として決定した場合、いつ頃からPTAとして保護者に情報提供していいのか。議会前でもいいのか、議会後なのかが分かればイメージしやすい。

〔委員〕6月の定例議会で議決を頂こうと考えている。扱い方としては、しばらくは（仮称）を付けて、議決を得てから（仮称）を取るようになるかと思う。

〔委員長〕学校名について、学校部会としては、提案された4案の中で左から順番へという意向があり、そのことも含めて、今後教育委員会で決定するということがよいだろうか。→（「異議なし」の声）

〔委員〕制服について、今後導入となったとき、支払いの仕方などが保護者にとって気になるところだと思う。例えば、分割が利くのか、いくら超えれば何分割が利くなど、業者を交えて情報をいただきたい。

〔委員〕そういった経費に関わることが一番直接的に保護者に負担がかかると考えている。

移行期間も含めて皆さんが気持ちよく制服導入に入って、子どもたちが楽しく学校に通えるような体制で望みたい。

〔委員〕 制服リサイクルをされている保護者の方から、来年度も制服を集めた方がいいのか聞かれた。29年度に中学校7年生になる人たちは、確実に新しい制服になるという認識で間違いなければ集める必要はないと言えるだろうが、どうだろうか。

〔委員〕 28年度の入学生は今の制服のままなので制服リサイクルはあった方がいいと思うが、29年度については、このままいけば新しい制服ということになるだろうと思う。途中、転入生が一時的に入ってくるケースもあるので、今は制服を集めてリサイクルをしているところではあるが、今後どういった時期にリサイクルをするとかいうことも含めて審議していきたい。

★ 確認事項

○校名については、「碩田」のあとに付け加える名称として、「学館」「学舎」「学院」「学園」の4案の中で、今後教育委員会において決定する。

○制服については、「制服を導入する」方向で、保護者対象の第2回アンケート調査を実施し、再度、制服導入時期の方向性について審議する。

【学校支援部会】

- ・資料5～10ページを基に、通学路、PTA組織、児童育成クラブについて部会長の山岡委員から説明する。

(説明内容の概要)

- ・通学路の整備要望事項に関する各機関からの回答の報告について
- ・PTA組織や児童育成クラブに関する協議の進捗状況について

<主な意見>

〔委員〕 荷揚町校区としてはバスの問題を真剣に捉えていただきたい。長い目で見ると、世の中物騒になっていく一方だと思うので、どこかでバスの運営について考えなければいけない機会が出てくると思う。小中一貫教育校を創るという大きなプロジェクトの中で、市において積極的に議論していただけたら大変有難い。

★ 確認事項

○通学路について、今後はハード面の対策からソフト面の対策に切り替え、自治会やPTA、各種団体等と連携して、「見守り体制づくり」を行う。

○児童育成クラブについて、3校の児童育成クラブ運営委員会による合同会議を実施し、今後の方向性について協議をする。

【施設部会】

- ・資料11～13ページを基に、工事の進捗状況や施設開放、備品（家具）の展示会の様子などについて部会長の岩本委員から説明する。

（説明内容の概要）

- ・新設校の各部屋における愛称の決め方について
- ・ランチルームなどで使用する備品の展示会の様子について
- ・開設する施設の運営方法等について

<主な意見>

- ・質問意見は特になし。異議なく承認された。

★確認事項

- 新設校における各部屋（「アリーナ」、「アトリウム」、「ランチルーム」等）の愛称を、開校後に新設校の児童生徒からの公募で決定する。
- 地域連携室の運営方法等については、学校支援部会とも連携して協議を進める。

②その他関連する事項の協議

- ・予定していた議題以外に、各部会または委員から関連する事項の協議の申し入れはなかった。

（3）その他

- ・事務局より、次回の日程について説明する。

★確認事項

- 第5回の開校準備委員会は、5月10日（火）の19時から大分市教育センターの302研修室で開催する予定である。

4. アドバイザーからの助言

- ・アドバイザーである大分大学福祉科学部の伊藤教授、日本文理大学工学部の西村准教授より、助言をいただく。

【アドバイザーから】

- ・制服について、個人主義の国であるアメリカの公立小学校が制服を導入したという例がある。その狙いは2つあり、1つは、学校ではみんなが生活と学びの間であるという一体感を持たせること。もう1つは安全面。要するに、なんでこの時間のこの場所にあの学校の制服を着た子がいるのかという目で見てもらい、子どもの安全性を高めるということ。制服の導入が子どもの安全性、一体感というところでいい効果を生むこともある。
- ・初めての施設一体型の小中一貫教育を創っていくだけでも大変なのだろうが、せっかくアクティブ・ラーニングを前提とした家具が入ってくるので、ぜひ、ここは発想を変えて頭を柔らかくして、いろいろな使い方を考えてほしいと思う。アクティブ・ラーニングが日本で定着していけば、国民性を変えるくらいの一大事業になると思っている。
- ・オープンスペースが画期的・活性的に使われることを期待しているが、これまでにオープンスペースにロッカーが置かれているという残念な事例も多い。ここが生きたものになることが非常に大事で、やはり実際に使ってもらわないといけない。使う為には、先生方がそういう教育展開を出来るかどうかが大変になる。家具をどう使うかを考えることと、一方通行の教育ではなくて、いわゆるワークショップ的な教育をしようと思うことが大事だと思う。
- ・設計において、学校の外とのつながりを密にする場所を1階部分にまとめ、それが核になって上の階に学校が出来ているというようなイメージで設計されている。要するに、地域が基盤にあって学校がその基盤の上にある。そのイメージをそのまま形にしたので、その基盤の部分をしっかり作りこんでいくことが、この学校の生命線を握っていると思う。

5. 閉会のことば